

平成19年度決算収支概況

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

(1) 基本財産運用収入

基本財産18億9,200万円を期間5年以内の国債、金融債、ユーロ円債等の有価証券にて運用し、基本財産運用収入は2,143万円（予算比43万円上回った）となった。

予算比43万円上回った要因は、平成19年1月にユーロ円債4億円を、年利2.01%と比較的高金利で運用できたものの、その後の金利情勢が、サブプライムローンの破綻に端を発し内外の経済、金融の市場環境の悪化により、長期金利が低位に推移しているもので微増に留まった。

(2) 寄付金収入

一般寄付金収入は、行員その他からの655万円（予算比455万円上回った）と（株）みずほフィナンシャルグループからの1,960万円（予算比同額）との合計2,615万円となり、予算比455万円上回った。

募金収入は予算どおり特別事業助成支出にほぼ見合う1,000万円である。

(3) 事業活動収入合計

上記収入にその他の収入〔特定資産運用収入ならびに雑収入－普通預金（一般口）ならびに（寄付金口）の受取利息収入〕12万円（予算比7万円上回った）を含めた事業活動収入合計は、5,770万円と予算比505万円上回った。

2. 事業活動支出

(1) 事業費支出

初等中等教育助成金支出は2,741万円（予算比9万円下回った／図書贈呈の誤差）、社会福祉助成金支出は2,750万円（予算比同額）となり、本年度事業は計画どおりに実施された。

特別事業助成金支出は予算どおりの1,100万円（みずほ号10台）となった。

その他助成は該当がなく、予算枠300万円は使用しなかった。

事業関連雑費合計は、204万円（予算比76万円下回った）となった。

事業雑費を含めた事業費支出合計は予算比385万円下回り6,795万円となった。

(2) 管理費支出

管理費は堅実な運営に努めた結果、予算比159万円下回り326万円であった。

したがって、事業活動支出合計は、予算比544万円下回り7,121万円となった。

3. 事業活動収支差額

上記収入・支出の結果、事業活動収支差額は予算比1,049万円下回り1,351万円の支出超過となった。

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

基本財産の同額再運用・投資のための取崩収入8億8,901万円（予算比3億1万円上回った／期日に即再運用せず段階的運用を行ったため）、特定資産取崩収入5,000万円（予算比同額）となり投資活動収入合計は予算比3億1万円上回り9億3,901万円となった。

2. 投資活動支出

基本財産の再運用・投資のための取得支出8億8,901万円（予算比3億1万円上回った／理由は取崩収入と同様）、特定資産取得支出4,000万円（予算比同額）となり投資活動支出合計は予算比2億9,971万円上回り、9億2,901万円となった。なお、固定資産取得支出（什器備品購入）30万円は発生せず。

3. 投資活動収支差額

上記収入・支出の結果、投資活動収支差額は予算比30万円上回り1,000万円の収入超過となった。

III 財務活動収支の部および予備費支出

財務活動収支ならびに予備費使用枠300万円の使用はなかった。

IV 収支差額合計

上記各部門の収支差額の結果、当期収支差額は予算比1,379万円上回ったものの351万円の支出超過となった。

前期繰越収支差額2,408万円からこの支出超過額を控除した2,057万円を次期繰越収支差額として次年度に繰越計上する。

以 上